

北中学校 家庭学習プログラムについて

はじめに

小・中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高める努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

北中学校では、基礎学力の向上や家庭学習の定着に力を入れています。基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには、学校での学習時間だけでなく、下校後の家庭での学習習慣も大きな役割を果たしています。学校で子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身につけさせると同時に、家庭では子どもたちの基本的な生活習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に集中させることも重要だと考えています。このことを踏まえ、家庭学習の定着に取り組んでいます。

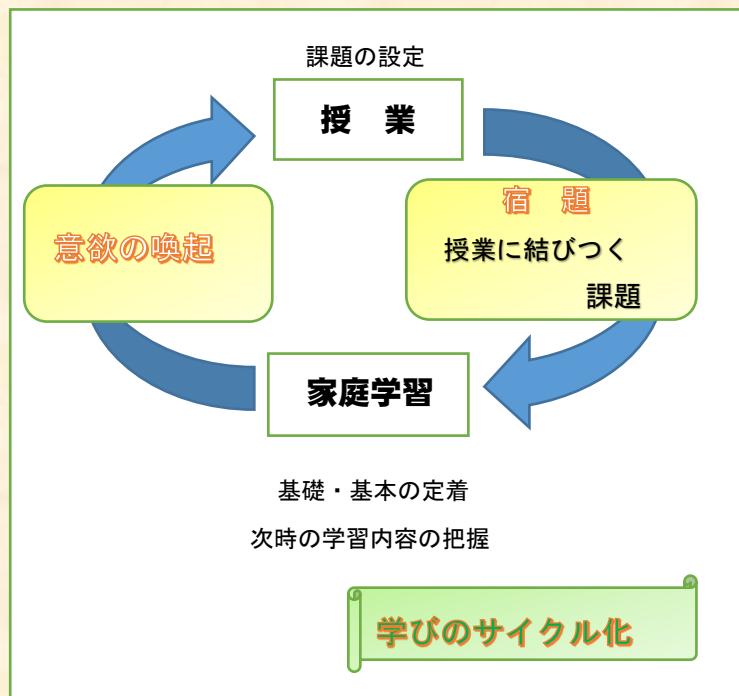


家庭学習の推進について

(1) 「家庭学習と授業のサイクル化」

家庭学習の定着による自主的な学習時間の確保とともに、授業への意欲を喚起させることも目的とするため、学校全体で「学びのサイクル化」に取り組んでいます。

学力の差にかかわらず、すべての生徒たちが授業に見通しをもって取り組めるようにと考えています。そして「授業」→「家庭学習」→「授業」のローテーションを繰り返すことで、学習意欲を高め、家庭学習を自立的に取り組むことを目指しています。そのため5教科を中心に毎日課題を示し、次の授業へつなげるというサイクルを確立させたいと考え、実施しています。



(2) 課題の内容について

授業と家庭学習を関連づけ、ねらいを明確にした課題を出題しています。授業で終了しなかった問題を課題として出すというような「その場しのぎ」的な課題の示し方ではなく、次の3点を意識した課題を出題するようにしています。

課題の内容

1. 基礎・基本的課題

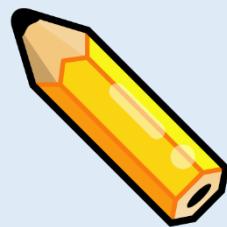
授業で学習するために必要な基礎・基本的な内容のもの

2. 予習的課題

次の授業で学習する内容に興味・関心を抱かせるようなもの

3. 復習的課題

習得した知識や技術の確実な定着をはかったり、次時のテストに備えたもの



具体的な取組

(1) 家庭学習の方法を指導します。

授業中だけでなく、家庭学習の方法を示した「学びのすすめ」(家庭学習の手引き)を全生徒に配布し、具体的な学習のやり方を指導しています。

(2) 課題内容

5教科を中心

- ① 基礎・基本的課題
- ② 予習的課題
- ③ 復習的課題

の内容で毎日課題を出しています。
学習の内容、量については、各学年の
「家庭学習プログラム」にそって出題
しています。



「学びのすすめ」

家庭学習プログラム

1年生

学習の目安は30分

月曜日・・・国語

・1教科15分程度の課題

火曜日・・・社会

+ α の時間

水曜日・・・数学

・復習中心

木曜日・・・英語

・自主学習の習慣化

金曜日・・・理科

※ これ以外の教科で宿題がでることもあります。

学習の目安は30分とし
ています。課題（宿題）は
15分程度の内容としてい
ます。

課題を済ませた後、本日
の授業の復習を中心にノー
トにまとめたり、問題集等
に取り組みましょう。

(+ α の時間)

※ 上図の予定で毎日課題（宿題）が出ます。

「学びのすすめ」を参考にしながら、自主学習(+ α の時間)にも取り組みましょう。

2年生

学習の目安は30~60分

月曜日・・・国語

・1教科20~30分程度

火曜日・・・社会

の課題 + α の時間

水曜日・・・数学

・予習や復習中心

木曜日・・・英語

・自主学習の習慣化

※ これ以外の教科で宿題がでることもあります。

学習の目安は30~60
分とします。課題（宿
題）は20~30分程度の
内容とします。

課題を済ませた後、本日
の授業の復習や次の授業の
予習を中心にノートにま
とめたり、問題集等に取り
組みましょう。

(+ α の時間)

※ 上図の予定で毎日課題（宿題）が出ます。

「学びのすすめ」を参考にしながら、自主学習(+ α の時間)にも取り組みましょう。

3年生

学習の目安は1時間以上

月曜日・・・国語

火曜日・・・社会

・1教科20~30分程度

水曜日・・・数学

の課題 + α の時間

木曜日・・・英語

・予習や復習中心

金曜日・・・理科

・自主学習の習慣化

※ これ以外の教科で宿題がでることもあります。

学習の目安は1時間以上としています。課題（宿題）は20~30分程度の内容としています。

課題を済ませた後、本日の授業の復習や予習、1・2年生の総復習を中心にノートにまとめたり、問題集等に取り組みましょう。
(α の時間)

※ 上図の予定で毎日課題（宿題）が出ます。

「学びのすすめ」を参考にしながら、自主学習(α の時間)にも取り組みましょう。

保護者の方へ

家庭学習の定着に向けて、話し合いをお願いします。

「自ら学ぶ子ども」を育てるためには、子どもたちが一番安心して生活ができる家庭で、安定したリズムの中、継続して学習に取り組むことが重要です。1・2年生では宿題や課題をやりきる基本的な学習習慣を身につけるため、課題を多く出したいと考えています。3年生では授業の復習、自主勉強など「自学自習の習慣」を身につけることが重要です。各家庭の事情やお子さまの実態にあわせて、家庭での約束ごとなどを話し合いながら、一度家庭学習についてお話しいただけたらと思います。